

川崎区地域自立支援協議会

＜今年度のテーマ＞

ともに暮らすまちづくり ～みんなにやさしい川崎区～

＜川崎区地域自立支援協議会の特徴＞

- ①月 1 回の協議会全体会議に向けて、区保健福祉センター、大師支所、田島支所、相談支援センターによる事務局会議を行い、会議の内容や運営について話し合いをしています。
- ②全体会議では、ワーキングチームの活動と専門委員会の活動の 2 部に分かれて活動しています。
- ③ワーキングチームの活動では、昨年度からの継続検討課題を踏まえ、児童期、高齢期、成人期の余暇支援の 3 つについて検討しています。
- ④専門委員会の活動では、昨年度の活動を踏まえ、更なる地域づくり、当事者参加の意識を高められるような取り組みを、広報、研修、区課題整理の視点から検討しています。

＜今年度の目標と方向性＞

- ①「児童期」…小学校入学後の児童に対する支援体制の整理や、課題の抽出を行い、支援向けに相談支機関の冊子を作成しています。
- ②「高齢期」…高齢と障害の関係機関で、それぞれ不足している知識や、相互で抱える課題を共有し、認知症に関する研修や、地域包括支援センターとの意見交換会を行っています。
- ③「成人期の余暇支援」…20代～30代の方を対象とした、成人の余暇活動の助けになる情報をまとめた冊子を作成しています。
- ④「広報」…当事者の声を協議会にどのように取り入れていくのか、当事者や地域の方へ協議会の活動をどのように発信していくのかを検討するとともに、区内の町内会開催のイベント（運動会）や、区社協祭りに参加しています。
- ⑤「研修」…構成員の抱える課題に対して研修を行ったり、利用者へ適切な情報を提供できるよう、地域の社会資源を知る機会を設けました。
- ⑥「区課題整理」…区協議会で抽出された課題の整理を行っています。

＜今年度の区全体会議＞

第1回 4月14日（火）14：00～17：00 南部身体障害者福祉会館
・自己紹介

- ・自立支援協議会の説明
- ・昨年度の活動報告、今年度の活動予定
- ・グループ分け、オリエンテーリング

第2回 5月12日（火）14：00～17：00 南部身体障害者福祉会館

- ・自己紹介
- ・ワーキングチームの活動（年間目標、リーダーの選出、年間予定等）
- ・専門委員会についての説明及び活動（年間目標、リーダーの選出、年間予定等）

第3回 6月9日（火）14：00～17：00 南部身体障害者福祉会館

- ・ワーキングチーム、専門委員会の説明
- ・ワーキングチームの活動（今年度取り組む内容の整理）
- ・専門委員会の活動（今年度取り組む内容の整理）
- ・6月16日（火）南部療育センター見学会のお知らせ

第4回 7月14日（火）14：00～17：00 南部身体障害者福祉会館

- ・ワーキングチームの活動（児童期、成人期の余暇支援、高齢期に分かれて実施）
- ・専門委員会の活動（研修、広報、区課題整理に分かれて実施）

第5回 8月18日（火）14：00～17：00 南部身体障害者福祉会館

- ・ワーキングチームの活動（児童期、成人期の余暇支援、高齢期に分かれて実施）
- ・専門委員会の活動（研修、広報、区課題整理に分かれて実施）
- ・川崎区地域自立支援協議会についてのアンケート実施予定のお知らせ
- ・南部就労援助センターより、就労支援事例検討会開催のお知らせ

第6回 9月8日（火）14：00～17：00 南部身体障害者福祉会館

- ・「だいJOBセンター」の紹介（生活困窮者自立支援法、体制と支援の流れの説明等）
- ・ワーキングチームの活動（児童期、成人期の余暇支援、高齢期に分かれて実施）
- ・専門委員会の活動（研修、広報、区課題整理に分かれて実施）
- ・川崎区地域自立支援協議会についてのアンケート実施予定のお知らせ

第7回 10月13日（火）14：00～17：00 南部身体障害者福祉会館

- ・ワーキングチームの活動（児童期、成人期の余暇支援、高齢期に分かれて実施）
- ・専門委員会の活動（研修、広報、区課題整理に分かれて実施）
- ・川崎区地域自立支援協議会についてのアンケート実施予定のお知らせ

【研修】 10月23日（金） 13：30～15：00 聖風苑

- ・認知症サポーター養成講座の開催
認知症の特徴と対応方法（講義、寸劇、グループワーク）
高齢者支援係、地域包括支援センターの紹介

第8回 11月10日（火） 14：00～17：00 南部身体障害者福祉会館

- ・ワーキングチームの活動（児童期、成人期の余暇支援、高齢期に分かれて実施）
- ・専門委員会の活動（研修、広報、区課題整理に分かれて実施）

【研修】 12月1日（火） 14：00～16：00 東海道かわさき宿交流館

- ・「医療少年院における現状と地域移行 ～支援者が受け入れるための心がまえ～」の開催

第9回 12月18日（火） 14：00～17：00 南部身体障害者福祉会館

- ・ワーキングチームの活動（児童期、成人期の余暇支援、高齢期に分かれて実施）
- ・専門委員会の活動（研修、広報、区課題整理に分かれて実施）

第10回 1月9日（火） 14：00～17：00 南部身体障害者福祉会館

- ・ワーキングチームの活動（児童期、成人期の余暇支援、高齢期に分かれて実施）
- ・専門委員会の活動（研修、広報、区課題整理に分かれて実施）

第11回 2月9日（火） 14：00～17：00 南部身体障害者福祉会館

- ・ワーキングチームの活動（児童期、成人期の余暇支援、高齢期に分かれて実施）
- ・地域包括支援センターとの意見交換会

第12回 3月8日（火） 14：00～17：00 南部身体障害者福祉会館

- ・まとめ（活動報告）
- ・来年度に向けて

＜具体的な取り組み内容＞

① ワーキングチームとしての取り組み

○児童期

「相談窓口がわかりにくい」「児童のサービスの種類がわからない」といった課題に対し、支援者向けに児童期の相談機関一覧の冊子を作成しています。

○成人期

「通所後の余暇の過ごし方が限られている」「余暇を助ける情報を手に入れる方法が限ら

れている」といった課題に対して、休日を充実できるような情報収集及び整理を行い、見やすい冊子を作成しています。

○高齢期

「介護保険の対象になった方への支援の連携」「介護保険対象者の親と、障害者の方への家族支援」といった課題に対して、認知症に関する研修の開催や、地域包括支援センターとの意見交換会を開催しています。

② 専門委員会としての取り組み

○広報

「地域の方に協議会を知ってもらおう」との目標を掲げ、町内会のイベント（運動会の手伝い等）や区社協祭りへの参加を通して、地域の方々と実際に触れ合う中で関係を築いていく活動を行っています。

○区課題整理

昨年度までの意見交換会で挙げた課題を整理して、区自立支援協議会で取り組めるもの（意見交換会や委員会設置、研修等）を整理しています。

○研修

構成員の抱える課題に対して研修を行ったり、利用者への適切な情報提供を行うために施設見学を行っています。南部療育センターの見学会、だいJOBセンターを招いて、センターの役割や生活困窮者自立支援法の研修の開催、神奈川医療少年院の方を招いて、医療少年院の現状を知る為の研修の開催をしています。



← 「医療少年院における現状と地域移行」の
研修風景

区社協祭り 参加風景 →



平成 27 年度川崎市地域自立支援協議会 構成員

	所 属	氏 名
1	かわさき基幹相談支援センター	坂本 利枝
2		小田川 容子
3		早川 智子
4		小林 知絵子
5	地域相談支援センター ふじみ	北嶋 寛子
6		中里 光宏
7	地域相談支援センター かわさき Life	中村 恵
8		瀬川 真未
9	地域相談支援センター いっしょ	加藤 祥子
10	川崎市保健福祉センター	平本 孝志
11	大師地区健康福祉ステーション	齋藤 隆祥
12	田島地区健康福祉ステーション	大谷 遼馬
13	川崎市精神保健福祉センター 地域支援係	三井 真由美
14	川崎市障害者更生相談所	藤井 隆
15	南部地域療育センター 地域支援係	小林 雅之
16	川崎市発達相談支援センター	澤田 圭美
17	川崎市社会福祉協議会	金子 泰彰
18	川崎市立田島支援学校 地域支援部	小林 達宏
19	川崎市立田島養育支援学校 PTA	中島 美紀
20	川崎市身体障害者協会	宮田 正行
21	ゆずりは園	国貞 敦士
22	わたりだ	三宅 武幸
23	日進町地域福祉活動ホーム むぎの穂	高嶋 直美
25	いけがみ	吉田 純
26	れいんぼう川崎 在宅支援室	浦田 健司
27	南部身体障害者福祉会館作業室 飛行船	松尾 潔
28	川崎市ふじみ園	丸山 尚
29	青丘社 ほっとライン	西巻 奈美
30	川崎南部就労援助センター	東根 淳子

31	川崎市わーくす大師	岸岡 裕江
32	川崎市わーくす川崎	伊丹 司
33	川崎市わーくす大島	松塚 典昭
34	視覚障害者情報文化センター	島田 延明
35	地域活動支援センター かもめ	岩崎 祐一郎
36	地域活動支援センター なのはな	小林 孝志
37	地域活動支援センター 糸ぐるま	安藤 敏
38	地域活動支援センター がんばるぞ大師	鈴木 貴彦
39	Bi-z Labo	大森 陽平
40	第2いけがみ	神余 千明
41	テラコヤキッズ川崎教室	松浦 百合子
42		沢田 友基
43	あいせん児童家庭支援センター	本橋 まり
44	ウイングル川崎センター	中島 希代子

幸区地域自立支援協議会

<今年度のテーマ>

つながりのある住みやすい街をつくろう ～課題をキャッチ～

<幸区地域自立支援協議会の特徴>

- ①毎月 1 回事務局会議と全体会議を実施します。全体会議では全体で協議する場と委員会ごとに分かれての活動の 2 部構成で行っています。全体会議で協議する時間及び委員会での協議、検討の時間確保のため、昨年度に比べて開始時間を 1 時間早めています。
- ②委員会活動は、「課題整理」「連携」「当事者」の 3 つの形態で行っています。

<今年度の目標と方向性>

- ①『全体』
 <障害のある方が地域や人とつながりを持つ事で、地域の中でいきいきと暮らしていけるような体制作りを目指す>という目的を立て、「つながる」をキーワードに年間を通しての活動を行います。過去 2 年取り組んだ「お父さんと障害のある子供たちのふれあいサッカーイベント」（家族がつながる）、「町内会、民生委員児童委員との連携」（地域資源とのつながり）などについては、事務局が中心となって実施します。
- ②『課題整理委員会』
 小さな課題にも目を向け、解決していく姿勢を持てるよう、全体会議で「ひとことタイム」を実施します。また、年間を通しての企画として、事例検討の場を設けます。その内の 1 回、区内生活介護施設サービス管理責任者を招き、各事業所の取り組みや情報交換を行う予定です（構成員のつながり）。
- ③『連携委員会』
 学齢期における教育と福祉の連携について、昨年度に引き続き検討を行い、具体的活動につなげる予定です。また、昨年度同様、地域包括支援センターとの意見交換会を実施します。
- ④『当事者委員会』
 平成 28 年度からの当事者参加、活動に向けて、募集・説明会などの検討、準備を行います。

<今年度の区全体会議>

- 第 1 回 平成 27 年 4 月 21 日（火）14：00～17：00 御幸日中活動センター
 [全体会議]
 各事業所の担当自己紹介と事業所紹介
 今年度体制について（開催日時、場所）
 ・自立支援協議会の目的、役割について確認
 ・今年度のテーマ、目的、目標、年間スケジュール確認

- ・委員会の確認

ひとことタイム

[専門委員会]

- ・課題整理委員会、連携委員会、当事者委員会ごとに年間スケジュール作成

第2回 平成27年5月19日（火）14：00～17：00 御幸日中活動センター

[全体会議]

HUG（避難所運営ゲーム）グループに分かれて実施、意見交換

[専門委員会]

- ・課題整理委員会：事例検討実施に向けての検討、ひとことタイム活用検討
- ・連携委員会：川崎市・幸区内小中学校特別支援教育コーディネーターとの連絡会一旦白紙となり、新たな動きについて検討
- ・当事者委員会：次年度からの当事者参加に向けて検討



HUG 実施の様子



第3回 平成27年6月16日（火）14：30～17：15 南部地域療育センター

[全体会議]

南部地域療育センター見学（川崎市協議会と合同）

専門委員会より進捗状況報告

新規参加希望についての取り扱い確認

川崎市地域自立支援協議会こども部会からの提案事項についての取り扱い確認

第4回 平成27年7月21日（火）14：00～17：00 御幸日中活動センター

[全体会議]

区内新規開所事業所案内（生活介護、放課後等デイ）

南部地域療育センター見学振り返り

精神障害者地域移行・地域定着支援協議会報告

ひとことタイム（意見交換）

専門委員会より進捗状況報告

[専門委員会]

- ・課題整理委員会：事例検討実施に向けての検討、お父さんと障害のある子供たちのふれあいサッカーイベント検討
- ・連携委員会：学齢期における福祉と教育の連携について検討
- ・当事者委員会：次年度からの当事者参加に向けて検討（他区の情報収集、募集要項な

ど)

第5回 平成27年8月18日(火) 14:00~17:00 御幸日中活動センター

[全体会議]

区内児童家庭支援センター事業説明、情報交換

第1回川崎市地域自立支援協議会全体会議報告

専門委員会より進捗状況報告

ひとことタイム(意見交換)

[専門委員会]

- ・課題整理委員会：事例検討実施に向けての検討、お父さんと障害のある子供たちのふれあいサッカーイベント検討
- ・連携委員会：学齢期における福祉と教育の連携について検討
- ・当事者委員会：次年度からの当事者参加に向けて検討(募集案内、説明会など)

第6回 平成27年9月15日(火) 14:00~17:00 御幸日中活動センター

[全体会議]

川崎市地域自立支援協議会事務局会議報告

市協議会課題整理ワーキングにて整理した各区で改めて取り扱う課題について

自立支援協議会手引きについての意見交換会報告

専門委員会より進捗状況報告

ひとことタイム(意見交換)

[専門委員会]

- ・課題整理委員会：事例検討実施に向けての検討
区内生活介護サービス管理責任者との事例検討会
お父さんと障害のある子供たちのふれあいサッカーイベント検討
- ・連携委員会：学齢期における福祉と教育の連携について検討
- ・当事者委員会：次年度からの当事者参加に向けて検討。

第7回 平成27年10月20日(火) 14:00~17:00 御幸日中活動センター

[全体会議]

だいじょうぶセンター事業説明

自立支援協議会手引き改訂について説明(途中経過)

お父さんと障害のある子供たちのふれあいサッカーイベント説明

専門委員会より進捗状況報告

[専門委員会]

- ・課題整理委員会：事例検討実施に向けての検討
区内生活介護サービス管理責任者との事例検討会
お父さんと障害のある子供たちのふれあいサッカーイベント検討
- ・連携委員会：区内地域包括支援センターとの意見交換会検討
学齢期における福祉と教育の連携について検討
- ・当事者委員会：当事者参加のあり方(構成員のあり方)、募集方法について改めて協議

が必要。一旦休止（課題整理委員会の活動フォロー）。

第8回 平成27年11月17日（火）14：00～17：00 御幸日中活動センター
[全体会議]

第2回川崎市地域自立支援協議会全体会議報告

民生委員・児童委員定例会、町内会長会への出席について経過報告

川崎市地域自立支援協議会連絡会議報告

お父さんと障害のある子供たちのふれあいサッカーイベント確認

専門委員会より進捗状況報告

事例報告（更生相談所）

[専門委員会]

- ・課題整理委員会：12月に区内生活介護サービス管理責任者との勉強会
お父さんと障害のある子供たちのふれあいサッカーイベント検討
- ・連携委員会：区内地域包括支援センターとの意見交換会検討
学齢期における福祉と教育の連携について検討
次年度、田島支援学校地域支援センター地域公開学習会の活用検討
- ・当事者委員会：一旦休止。課題整理委員会の活動フォロー。

第9回 平成27年12月15日（火）14：00～17：00 小向このはな園
[全体会議]

ケアマネジメント勉強会・情報交換会

- ・事例発表（サービス等利用計画と個別支援計画とのリンク）
- ・各生活介護施設サービス管理責任者より発表（情報共有、意見交換等）
- ・小向このはな園見学

お父さんと障害のある子供たちのふれあいサッカーイベント振り返り

第10回 平成28年1月19日（火）14：00～17：00 幸区役所
[全体会議]

地域包括支援センターとの意見交換会

- ・区内の障害者の実態及び課題について
- ・関係機関が関わりを持った事例紹介
- ・グループワーク（地域で支える仕組みについての検討）

川崎市地域自立支援協議会事務局会議報告

第11回 平成28年2月16日（火）14：00～17：00 御幸日中活動センター（予定）

第12回 平成28年3月15日（火）14：00～17：00 御幸日中活動センター（予定）

<具体的な取り組み内容>

○全体

- ・年度当初に自立支援協議会の目的、役割について確認し、今年度のテーマ、目的、目標、年間ス

スケジュールを構成員で共有することで、協議会として果たすべき役割について共通認識を持つ事ができました。

- ・『地域資源とのつながり』

民生委員・児童委員、町内会の皆様にまず知って頂く事を目的に、10月～11月にかけて、地区民協8ヶ所、町内会・自治会エリア3ヶ所へ赴き、障害者相談支援センター、障害者虐待防止法について周知を行いました。

地域資源を知るという目的で、南部地域療育センター見学、新規開所事業所等の事業説明などを実施しました。

- ・『家族がつながる』

「お父さんと障害のある子供たちのふれあいサッカーイベント」は3年目を迎え、川崎フロンターレにご協力いただき、開催しました。親子での運動で体を動かしたあと、子供たちはサッカー、父親は懇談会を実施。他己紹介などを通じて、昨年以上に交流を深める良い機会となりました。



《お父さんと障害のある子供たちのふれあいサッカーイベント》

平成27年11月29日（日）14：00～15：30 東芝小向体育館

○課題整理委員会

- ・『構成員のつながり』

構成員が抱えている疑問、困り感などを報告し、それに対しての意見交換、情報提供など「ひとことタイム」を実施しました。

事例検討として、区内生活介護施設サービス管理責任者を招き、各事業所の取り組みや情報交換

を行いました。サービス管理責任者同士の横のつながりがなかったため、良い機会となりました。

○連携委員会

- ・ 学齢期における教育と福祉の連携について、川崎区・幸区内小中学校特別支援教育コーディネーターとの連絡会を6月に予定していましたが、一旦白紙となり、新たな動きについて検討し、次年度田島支援学校地域支援センター地域公開学習会の活用を予定しています。
- ・ 地域包括支援センターとの意見交換会を実施しました。幸区ではここ数年人口の増加に伴い、障害者（手帳所持数）の方も増えてきている、支援につなげていない方も多く存在するという課題を基に、地域包括支援センターが関わった事例から、地域で支える仕組みについてグループワークを行いました。

○当事者委員会

- ・ 各区の当事者委員の在り方・公募の方法等の情報を集め、来年度の当事者参加に向けた話し合いを行いました。公募を実施する予定でしたが、選考基準や方法の明確化、構成員としてのあり方について議論の余地がまだあり、引き続き協議を行っています。

平成27年度幸区地域自立支援協議会 構成員

	所属	氏名
1	さいわい基幹相談支援センター	小川 尚人
2		野村 鼓
3		林 京子
4	地域相談支援センターラルゴ	日野 淳
5		迎 友行
6	地域相談支援センターあんさんぶる	吉澤 美香
7		宮本 正教
8	地域相談支援センターりぼん	小林 しのぶ
9		熊澤 真美
10	幸区高齢障害課障害者支援係	鶴見 亜呂
11		長 美安子
12	御幸日中活動センター	加藤 昭和
13	小向このはな園	鈴木 謙之
14	川崎ふれあいの会	宅間 奈巳
15	南部地域療育センター	貞岡 明子
16	市立田島支援学校	田中 雄三
17	県立中原養護学校	加藤 佳子
18	県立鶴見養護学校	今西 由佳
19	れいんぼう川崎在宅支援室	浦田 健司
20	精神保健福祉センター	堀川 聡
21	障害者更生相談所	石原 朝美
22		飯野 芳枝

中原区地域自立支援協議会

＜今年度のテーマ＞

つながろう中原

＜中原区地域自立支援協議会の特徴＞

- ① 今年度より新たに2つの専門委員会に分かれ、それぞれ委託の相談支援センターが中心となり運営しています。
- ② 課題提出票から地域の課題を整理出来るように構成員全体に課題提出票の活用について説明を行ないます。
- ③ 継続的に実施している「なかはらファミリー」を当事者である実行委員と一緒に企画・運営します。
- ④ 全体研修を企画・実施します。

＜今年度の目標と方向性＞

- ① 「中原区事業所連携委員会」 自立支援協議会に参加していない区内福祉サービス事業所、関係機関が感じている課題を協議会としても取り上げられる仕組みを協議し、事例検討、事例紹介を通して、サービス管理責任者等との連携を図れる機会を設けることを目的とし、その足掛かりとなるよう、中原区内の事業所紹介の冊子を作成しました。
- ② 「普及啓発委員会」障害のある方やそのご家族と、支援機関や地域の支援して下さる方々等とのネットワークづくりを目標に、3つのワーキングを立ち上げました。
- ③ なかはらファミリー…当事者主体の集いの場を後方支援します。
- ④ なかはら福祉健康まつり…中原区地域自立支援協議会の周知活動を行います。
- ⑤ 広報…なかはら健康福祉まつりで配布するリーフレットの作成、HP の開設、広報紙の作成を行います。

＜今年度の区全体会議と専門委員会＞

第1回 【全体会議】 4月17日（金）14：00～17：00 中原区役所

- ・自己紹介
- ・協議会の説明
- ・今年度の活動内容、年間予定確認、役割分担

第2回 【全体会議】 5月22日（金）14：00～17：00 中原区役所

- ・事例検討 グループワークで課題抽出

- ・専門委員会 構成員決め

第3回 【全体会議】 6月19日（金）14：00～17：00 中原区役所

- ・事例検討 グループワークで課題抽出

第4回 【専門委員会】 7月17日（金）14：00～17：00

- ・各委員会 提出された課題整理表を基に、今年度の取り組み内容検討。

○中原区事業所連携委員会 中原区内の事業所紹介の冊子を作成

第19回なかはら福祉健康祭りの参加概要確認

○普及啓発委員会 活動内容の協議

- ・なかはらファミリー 第8回実施の振り返り

第5回 【専門委員会】 8月28日（金）14：00～17：00 中原区役所

○中原区事業所連携委員会 中原区内の事業所紹介の冊子を作成

今年度は中原区内の全事業所を対象とせず、協議会構成員の
所属事業所を対象とする

- ・児童期の課題について

○普及啓発委員会

- ・広報紙の作成について内容の検討
- ・当事者、家族参加について

第6回 【全体会議】 9月18日（金）14：00～17：00 中原区役所

○中原区事業所連携委員会 ・事業所紹介の冊子

- ・児童期の課題について 意見交換

○普及啓発委員会

- ・広報紙の作成について内容の検討

第7回 【専門委員会】 10月17日（金）14：00～17：00 サンライズ

○中原区事業所連携委員会 ・事業所紹介の冊子

- ・児童期の課題について 意見交換

○普及啓発委員会

- ・広報紙の作成について内容の検討

○前年度協議会 課題の振り返り

第8回 【専門委員会】 11月20日（金）14：00～17：00 中身館

○中原区事業所連携委員会 ・児童期の課題について 意見交換

次年度の取り組みに向けて

○普及啓発委員会

- ・広報紙の作成について内容の検討
- ・当事者・家族との関わり
- ・「貸してあんしんガイド」

- ・なかはらファミリー・・・第9回実施後の振り返り

- ・福祉祭り前日準備

第9回 【全体会議(研修)】 12月18日（金）14：00～17：00 中原区役所

「矯正施設からの自立【地域に求められるもの】」

講師：神奈川県地域生活定着支援センター 渡邊 啓二氏

第10回 【専門委員会】 1月16日（金）14：00～17：00 中原区役所

- ・専門委員会活動
- ・なかはらファミリー打ち合わせ・・・2月実施前の打ち合わせ

第11回 【全体会議】 2月19日（金）14：00～17：00 中身館

- ・来年度の専門委員会の活動内容についてのグループディスカッション

第12回 【全体会議】 3月18日（金）14：00～17：00 中原区役所

- ・来年度の専門委員会の方向性の共有。

＜具体的な取り組み内容＞

① 専門委員会としての取り組み

「中原区事業所連携委員会」

中原区内の障害に関連するサービス事業所の紹介出来る冊子を作りました。

それぞれの事業所が作成することで、アピールポイントなども明確にする狙いがありました。

今年度は、試作段階として協議会に参加している事業所がそれぞれ紹介したものを冊子としてまとめ、12月の全体研修の場で広く配布しています。

「普及啓発委員会」

○「貸して安心ガイド」班

昨年度の「まちづくり委員会」の中で、障害のある方や高齢者の「地域で暮らしたい」を応援するために「貸して安心ガイド」を作成しました。今年度は、その普及のために区内の“神奈川県あんしん賃貸住宅”協力店となっている不動産屋を回り「貸して安心ガイド」についてのアンケートを実施しました。

○当事者・家族班

次年度に向けて、区自立支援協議会への当事者・家族の参加について要項などを検討しています。

また、当事者活動として「なかはらファミリー」の実行委員会を設置し、当事者中心の運営をサポートしています。

○広報誌の作成

普及啓発活動の一環として、広報誌「なかはら楽通信 創刊号」を作成しました。

② 渉外・広報活動

なかはら福祉健康まつり：11月1日（土）

中原区地域自立支援協議会のPR方法として、来客に、バスケットボールゲーム、協議会に関する簡単なクイズゲームに挑戦してもらいました。

ゲームコーナーは非常に好評で、多くの方に立ち止まって協議会のパネルを見てい

ただく機会となりました。



中原区地域自立支援協議会 広報

- 活動内容の変更があったため、改訂版を作成し、なかはら福祉健康まつり等の機会に配布しました。
- ホームページを開設しました。随時更新してしています。
- 広報紙を発行しました。

なかはらファミリー：第7回 7月4日(土)、第8回 11月14日(土)

第9回 2月6日(土)

• 当事者主体の集いの場として、今年度は実行委員3名を中心に活動してきました。自立支援協議会としては活動の後方支援をしており、実行委員と月1回程度の打ち合わせを重ね、当日のプログラムやチラシの作成、参加者の募集をしてきました。第7回は川崎市イメージアップ認定事業「天まで届け！かわさき色わっかつなぎ」企画に参加しました。

第8、9回はゲームや手作りの楽器を作ったのカラオケ、風船バレー、しゃべり場で盛り上がりました。

参加人数 7月4日(10名)、11月14日(16名)、2月6日(15名)



全体研修：平成27年12月18日（金）

地域定着支援センターは保護観察所や矯正施設と連携し、地域の福祉関係、地方公共団体、その他関係機関などと協力をし、矯正施設を退所した高齢者・障害者の社会復帰を支援している機関です。

都道府県に一か所ずつ配置されており、社会福祉法人などに委託されて事業を行なっています。国の補助金が縮小され財政難な中で、業務は多岐にわたります。地域の受け皿も無い中でご苦労も多くありながら、社会復帰に向けてご本人の想いに寄り添い、尽力されているお話を伺い、受け皿である地域の役割について考える有意義な時間となりました。



中原区地域自立支援協議会 構成員

	所 属	氏 名
1	生活訓練支援センター カシオペア	鈴木 宏直
2	川崎市中央療育センター 入所部門	上瀧 美帆
3	川崎市中央療育センター 通所部門	牧野 真里子
4	障害者支援施設 めいぼう	土屋 主税
5	障害者支援施設 桜の風（さくら）	佐野 良
6	障害者支援施設 桜の風（もみの木）	小野 雅徳
7	川崎市わーくす中原	河合 鉄士
8	NPO法人 わになろう会	新井 靖子
9	神奈川県立中原養護学校	瀬戸 由紀子
10	川崎市立聾学校	服部 洋子
11	聴覚障害者情報文化センター	今宮 清明
12	児童発達支援事業所ドナルド2	山口 由里子
13	ダンウェイ株式会社	光武 知枝美
14	川崎市障害者更生相談所	小嶋 和津江
15	中部就労援助センター	小林 亜希子
16	精神障がい者就労移行支援センターかわさき かわさき@Job	小笠原 勝治
17	放課後等デイサービス NEST 武蔵新城教室	蒲生 紀代
18	白楊園	中山 良介
19	オアシス井田	安田 紘己
20	こだなか地域包括支援センター	加藤 まゆみ
21	なかはらファミリー実行委員	藤田 薫
22		小沢 健二
23		芹沢 祐子
24	中原区役所保健福祉サービス課障害者支援係	渡辺 明日美
25		荒波 小牧
26		森脇 美和
27	なかはら基幹相談支援センター	井上 文香
28		先崎 陽子
29		中里 友
30	もとすみ地域相談支援センター	原 智子
31		飯嶋 礼子
32		田島 大輔
33	地域相談支援センターすまいる	猪野田 丈裕
34		大杉 美保

35	地域相談支援センター虹	武藤 みやこ
36		西 文子

高津区地域自立支援協議会

🎉＜今年度のテーマ＞🎉

高津区 3 本の矢作戦

～5 年でこんなまちにしたい 夢から実現へ～

🎉＜高津区地域自立支援協議会の特徴＞🎉

- ① 全体会議、事務局会議ともに月 1 回活動しています。
全体会議は、全体での情報共有、課題の検討、各専門委員会の取り組み等を行っています。事務局会議は、全体会議に向けて流れの確認や打ち合わせを実施しています。
- ② 各専門委員会の取り組みは、3 つに分かれており(相談支援・課題整理・ボランティア育成)、それぞれの専門委員会が中・長期的な目標(5 年計画)を立て、高津区が障害のある方にとって身近な住みよい場所になるようにという目標に向かって取り組んでいます。今年度は 5 年目の取り組みになります。また、専門委員会に加えて広報係、交流企画係の二つの係活動も行っており、
- ③ それぞれの委員会、係が連携しながら活動しています。

👥＜今年度の目標と方向性＞👥

- ① 専門委員会の中・長期的な目標の確認をしながら、5 年目の取り組みとして、地域に積極的に出ていき、実践を積み重ねていき、何らかの結果が出るように活動していきます。
- ② 相談支援や地域自立支援協議会について、地域の方にもっと知っていただき、ネットワークを広げていけるよう取り組んでいきます。
- ③ 各専門委員会や係の動きが不透明にならず連携しながら進められるように、全体での報告や意見交換等の場を設定します。各専門委員会の取り組みで、他の委員会との連携が必要な場面では、協力を依頼する体制作りを行います。

🎉＜今年度の区全体会議＞🎉

第 1 回 4 月 28 日(火) 13:30～17:00 高津区役所にて

◎地域自立支援協議会の内容や役割等の確認

◎今年度の協議会について確認

- ・高津区 5 年計画の流れ確認
- ・今年度のテーマと内容、役割分担、年間スケジュール

- ・構成員、当事者参加について
 - ・専門委員会、係決め
- ◎各専門委員会、係の打合せ

第2回 5月26日（火）13：30～17：00 高津区役所にて

- ◎構成員募集（当事者・家族）について検討
- ◎各専門委員会、係の紹介
- ◎各専門委員会、係の打合せ

第3回 6月23日（火）13：30～17：00 高津区役所にて

- ◎構成員募集（当事者・家族）について検討
- ◎課題整理委員会主催の取り組み グループ討議
- テーマ：構成員募集（当事者・家族）に応募してきた方への配慮等について。
- ・グループごとにどういう方かも想定して話し合いを実施。
- ◎各専門委員会、係の打合せ

第4回 7月28日（火）13：30～17：00 中央療育センターにて

- ◎高津区民祭参加の報告
- ◎構成員募集（当事者・家族）について
- ◎児童期の支援について
- ・中央療育センターの事業の見学、事業の説明、質疑応答
 - ・放課後等デイサービスの事業、現状の説明
 - ・高津養護学校から現状の説明
 - ・平成26年度こども部会からの提案について意見交換
- 今年度は12月に高津養護学校にて話し合いの機会を持つ予定。
- 課題整理委員会が行っている出前講座を発展させていく形での取り組みが良
 いのではないか。
- ◎各専門委員会、係の打合せ

第5回 8月25日（火）13：30～17：00 高津区役所にて

- ◎構成員募集（当事者・家族）について
- ・今までの経過や個別の配慮等について確認。来年度4月にスタートする。
- ◎市連絡会議の内容を確認。
- ・5年計画の総括と当事者参加の取り組みについて発表する。
- ◎交流企画係主催の取り組み
- テーマ：防災に対する取り組みについて
- ・当事者が防災について語ったビデオを視聴後、地域や協議会でどのような

取り組みができるか等についてグループ討議。

◎各専門委員会、係の打合せ

第6回 9月29日（火）13：30～17：00 高津区役所にて

◎構成員募集（当事者・家族）について

◎課題整理委員会主催の取り組み グループ討議

テーマ：夕方支援について

- ・放課後等デイサービス事業所より、事業内容等について報告。

その後グループ討議。

◎各専門委員会、係の打合せ

第7回 10月27日（火）13：30～17：00 高津区役所にて

◎ボランティア育成委員会主催の取り組み

- ・取組の内容報告、全体共有
- ・今後の課題（「ちょっとしたお手伝い」の場の実現のための仕組み）について、全員が意見を付箋に記入。

◎市連絡会議発表リハーサル

◎各専門委員会、係の打合せ

第8回 11月24日（水）13：30～17：00 高津区役所にて

◎相談支援委員会主催の取り組み

- ・相談支援委員会の取り組みの説明
- ・ハートフル川崎病院の説明
- ・当事者による入院から地域移行までの体験談
- ・地域移行を進めるうえでのポイントについて

◎ふくシティたかつの取り組みについて

- ・高津区民会議より。障害者施設の活動紹介等を通じ、地域との交流の場を設ける取り組み。

◎各専門委員会、係の打合せ

第9回 12月22日（火）13：30～17：00 高津養護学校にて

◎ふくシティたかつの取り組みの報告

◎児童期の支援について

高津養護学校の見学、説明、質疑応答

- ・目指す学校像、就職率、本校と分校の違い、放課後等デイサービスの利用数、専門職の必要性等について確認。
- ・学校と協議会の連携についてグループ討議。

◎各専門委員会、係の打合せ

第10回 1月26日（火）13：30～17：00 高津区役所にて

◎構成員募集（当事者・家族）について

・4名の方が来年度からの参加を希望。配慮事項について全体で確認。

◎各専門委員会、係より状況報告

◎各専門委員会、係の打合せ（年間まとめ含む）

第11回 2月23日（火）13：30～17：00 高津区役所にて（予定）

第12回 3月22日（火）13：30～17：00 高津区役所にて（予定）

🎈＜具体的な取り組み内容＞🎈

◎課題整理委員会

各会議にて構成員から出された課題を集約、整理し、3ヶ月ごとに全体で確認しました。また、課題を構成員で共有し解決に向けていくために、グループ討議を行いました（当事者への配慮、夕方支援について）。

居宅サービス事業所、放課後等デイサービス事業所、子ども文化センター（わくわくプラザ）等に出向き、出前講座を実施しました（依頼内容は主に障害児者について）。



＜グループ討議の様子＞

◎相談支援委員会

地域移行について取り組みました。区内唯一の地域移行対象施設であるハートフル川崎病院と顔の見える関係性を構築することにより、潜在ニーズの確認及び地域移行を促進させる土壌をつくることを目指して活動を行いました。

8月よりハートフル川崎病院が協議会に構成員として参加。11月に実際に病院から地域移行した方にもご参加いただき、地域移行についての体験談を聴いたり、地域移行をすすめるうえでのポイント等について確認しました。

また、1月にはハートフル川崎病院との交流会を実施しました（病棟見学、ニーズ確認、病院による地域移行の取り組みの共有）。

◎ボランティア育成委員会

当事者が自分の経験を活かすという仕組み作りとして、地域の人とともに「当事者自身がボランティアを行う」ことに一緒に取り組みました。

7月に高津区民祭、12月にあかしあ園わいわい祭り、1月にええんじゃないか祭りに参加し、祭りの手伝いや、物品販売の補助等を行いました。



〈わいわい祭り〉



〈ええんじゃないか祭り〉

◎広報係

ホームページの立ち上げ、広報誌「たかつくる」の作成を行いました。「たかつくる」は昨年度の第1号に続いて、今年度は第2号を発行しており、第3号も年度内に発行する予定です。高津区にお住まいの方が住みやすいと思えるようなまちづくりを目指す、地域自立支援協議会の想いを発信しています。



〈たかつくる第2号〉



〈福祉のまちづくり学習会〉

◎交流企画係

ケアマネ連絡会との交流会、手をむすぶ親の会高津支部との研修会（ライフステージに沿った支援について）、高津区まちづくり協議会との学習会（福祉のまちづくり学習会 災害弱者から話を聞き、グループで意見交換）を実施しました。

また、2月に地域包括支援センターとの交流会を実施予定です。

🌈＜次年度はこんなことします！…あるいはこんなことしたいな～＞🌈

◎2、3月の全体会議で検討する予定であり、現在は未定です。

高津区地域自立支援協議会 構成員

	所属	氏名
1	たかつ基幹相談支援センター	島津 晴美
		山崎 友恵
		栗野 まゆみ
2	くさぶえ地域相談支援センター	漆山 敬夫
		小嶋 晃子
		久富 かおる
3	地域相談支援センターゆきやなぎ	田子 洋平
		平井 祐樹
4	地域相談支援センターいまここ	高松 信
		井藁 元子
5	アズサケアサービス	飯塚 英市
6	フルライフスマートケア	追川 由美子
7	地域生活支援センターカシオペア	目黒 裕子
8	社会復帰訓練所	三宅 昌子
9	ウイング・ビート	小川 卓
10	ウェルビー溝の口	森山 聡
11	つばさ	村田 雄一
12	ハートフル川崎病院	高橋 真美
13	川崎市立中央支援学校地域支援部	平賀 のぞみ
14	神奈川県立高津養護学校	柏木 亨
15	高津区社会福祉協議会	戸澤・大窪
16	川崎市中央療育センター	熊谷 典子
		藤田 千鶴
17	高次脳機能障害地域活動支援センター	北川 潤
18	精神保健福祉センター	小林 知子
19	障害者更生相談所	飯野・須ヶ間
20	高津区役所児童家庭課サポート担当	松本 健三
21	高津区役所高齢・障害課	端坂 幸子
		荒木 啓介
		山崎 芽衣子
		永野 知里
		原 和広
		高田 加奈子

宮前区地域自立支援協議会

＜今年度のテーマ＞

地域でつながる ～顔の見える関係を作ろう～

＜宮前区地域自立支援協議会の特徴＞

- ① 保健福祉センターと相談支援事業所等を事務局とし、当事者の方、障害福祉サービス提供事業所、養護学校、療育センター、まちづくり協議会、社会福祉協議会と構成員が多岐にわたっています。現在、構成員は40名となっています。
- ② 検討課題を各専門委員会に分けて役割を明確にすることで活動を活発化させ、隔月1回の全体会議で報告し情報を共有しています。
- ③ 全体会議や専門委員会の進捗状況の把握と運営のため、保健福祉センター・基幹相談支援事業所・地域相談支援事業所・専門機関による事務局会議を月1回開催しています。

＜今年度の目標と方向性＞

- ・当事者や構成員が活発な協議が行えるよう、発言しやすい工夫として少人数のグループに分かれての協議等の対応を行います。
- ・専門委員会での活動については、くらし・児童・広報の3つに分かれて活動を行います。研修等のイベントは各専門委員会で開催しますが、構成員全体で協力のもと実施。各専門委員会の中で出てきた課題は、全体で検討できるような機会を設けます。

○くらし委員会

- ・これまでの取り組みから共有化された課題からテーマを選びグループワークを実施し、次年度以降に取り組む具体的な活動を検討していきます。
- ・「防災」について、地域とのつながり作りを意識した活動を行っていきます。

○児童委員会

- ・具体的な不安の解消に向けて、学齢期のお子さんがある保護者を対象とした研修会の開催を検討します。
- ・教育関係者との連携を充実させていきます（養護学校主催の研修会参加等）。
- ・情報紙（ふれあいジュニア）の作成を行います。

○広報委員会

- ・広報・啓発の新たな方法について検討します。
（リーフレット・広報紙作成を含む情報の発信）
- ・ホームページの運用を行い、内容の充実を図るため掲載内容を検討します。
- ・各専門委員会の広報物作成やイベントのお知らせ等も協働しながら行い、広報物のひな型を作っていきます。

＜今年度の区全体会議＞

第1回 4月21日（火）13：30～16：30

- ① 自己紹介
- ② 今年度の市地域自立支援協議会の体制について
- ③ 今年度の取り組みについて
- ④ その他
- ⑤ 各専門委員会に分かれて

第2回 5月19日（火）13：30～16：30

各専門委員会活動日※専門委員会によっては別日の開催もあり。

第3回 6月16日（火）13：30～16：00

- ① 「移動」に関するグループワーク
- ② 各グループ報告
- ③ 各専門委員会報告
- ④ その他

第4回 7月21日（火）13：30～16：00

各専門委員会活動日※専門委員会によっては別日の開催もあり。

第5回 8月18日（火）13：30～16：00

宮前区地域自立支援協議会と地域包括支援センターとの意見交換会

- ① 地域包括ケア連絡会議からの発表（取り組み報告他）
- ② グループに分かれた意見交換
- ③ 各グループからの発表
- ④ 各種報告
- ⑤ その他

第6回 9月15日（火）13：30～16：00

各専門委員会活動日※専門委員会によっては別日の開催もあり。

第7回 10月20日（火）13：30～16：00

「聞かせてみんなの暮らし」

- ① 当事者との意見交換会
- ② 各専門委員会報告
- ③ その他（「川崎市地域自立支援協議会運営の手引き」の説明他）

第8回 11月17日（火）13：30～17：00
各専門委員会活動日※専門委員会によっては別日の開催もあり。

第9回 12月15日（火）13：30～16：00
① 宮前区地域自立支援協議会 構成員の考え方について
② 多摩区協議会見学調査の報告 グループワーク
③ 各専門委員会報告
④ 井田日中活動センター事業説明
⑤ その他

第10回 1月19日（火）13：30～16：00
① 各専門委員会にて年度まとめ
② 各専門委員会報告
③ 地域課題案の報告
④ その他

第11回 2月16日（火）13：30～16：00（予定）
① 平成28年度宮前区地域自立支援協議会実施計画（案）について
② 各グループで討議
③ 各グループの報告
④ その他

第12回 3月15日（火）13：30～16：00（予定）
① 平成28年度 運営体制について
② 平成28年度 年間計画について
③ 各種報告
④ その他

＜今年度のその他の活動＞

平成27年12月2日（水）

宮前区地域自立支援協議会と地域包括支援センターの意見交換会（2回目）を開催しました。

＜具体的な取り組み内容＞

○全体会議

- ・各専門委員会の報告と協議、川崎市地域自立支援協議会の報告などを行いました。
- ・地域包括支援センターとの勉強会を開催しました。

- ・宮前区で生活している当事者の方をお招きし、意見交換会を開催しました。
- ・グループにわかれて意見交換を行い、次年度の取り組みについて話し合いました。

○くらし委員会

- ・今年度は、これまでの取り組みの中から共有化された課題の中から「移動手段」と「防災」をテーマとして取り上げ、話し合いを行いました。
- ・平成 27 年 5 月 「移動手段」をテーマに話し合いを行い、課題の分類・整理を行いました。
- ・平成 27 年 6 月 全体会議で「移動手段」をテーマにグループワークを行いました。
- ・自主防災組織の方 2 名を招き情報交換を行いました。
- ・防災について、各自で他地域等での取り組みを情報収集した結果を報告し、情報を分類し整理を行いました。



○児童委員会

- ・平成 27 年 8 月 5 日 麻生養護学校にて教職員を対象とした夏の勉強会に講師として参加しました。地域療育の現状と地域資源の活用について情報提供と意見交換をしました。
- ・平成 28 年 1 月 「ふれあいジュニア No.3」発行しました。
- ・平成 27 年 9 月 29 日 宮前区地域支援講座として「学齢期の悩みと支援-もっと情報を共有しましょう-」というテーマで、保護者・支援者・市民向けに講演会を開催しました。



○広報委員会

- ・平成 27 年 11 月 3 日 「地域包括ケアシステム区民シンポジウム」での団体紹介パネルを作成し、展示しました。

- 宮前区地域自立支援協議会のリーフレット素案作成、「ふれあいジュニア」作成支援を行いました。
- ホームページの運用を進め、イベント等の活動報告や
広報紙のバックナンバーを掲載しました。
- 平成27年12月1日 広報誌「ほっととらいあんぐる」
を発行しました。



宮前区地域自立支援協議会 構成員

	所 属	氏 名
1	宮前区身体障害者協会	船橋 光俊
2	オリオン	大窪 俊夫
3	いぬくら	秋山 明子
4	長尾福社会	東海 美奈
5	なごみ福社会	渡邊 紀子
6		栗原 敦子
7	みずさわ	木村 隆史
8	みのり会	山中 淳子
9	らぼおるの樹	大森 裕子
10	そら	小島 知子
11	地域教育会議	篠澤 惺子
12	まちづくり協議会	新安 裕美子
13	まちづくり協議会	小林 はるみ
14	麻生養護学校	坂井 優里
15	高津養護学校	片野 志保理
16	宮前区社会福祉協議会	佐藤 祐佳
17	西部地域療育センター	清水 歩
		藤本 明國
18	地域ケア連絡会議	田中 直子
19	川崎市精神保健福祉センター	堀川 聡
20	障害者更生相談所	藤井 隆
21		伊藤 朝子
22	れいんぼう川崎	池田 英一
23	家族	小松 紀子
24		落谷 佐苗
25		太田 操
26	あおぞら	伊藤 久美子
27	アピエ（りおん）	米原 綾
28	みやまえ基幹相談支援センター	野原 篤
29		山本 望
30		北村 宏和
31	地域相談支援センターシリウス	有泉 加代子
32		木村 恵実
33	地域相談支援センターれもん	西坂 恵里
34		内海 淳子

35	地域相談支援センターポプラス	船井 幸子
36		中古 翠
37	宮前区役所高齢・障害課 障害者支援係	植木 美津枝
38		江口 健太郎
39		長山 絵美
40		濱田 友紀子

多摩区地域自立支援協議会

＜今年度のテーマ＞

障害者も共に楽しく生きる街づくり

～ 地域に出よう！～

＜多摩区地域自立支援協議会の特徴＞

- ① 当事者・当事者家族委員として12名が参加され、全体会議と委員会に参加し活動しています。
- ② 各構成員が課題整理表に基づいたテーマから導かれた4つの委員会に分かれて活動しています。その活動内容は隔月に行われる全体会議で共有しています。
- ③ 課題整理と区内の行事等に関することは、係として位置付け主に相談支援センター担当者で分担しています。

＜今年度の目標と方向性＞

事務局会議は毎月実施、全体会議は隔月に実施しています。全体会議では、各委員会の活動報告を行い情報共有することと、グループ討議等を行っています。全体会議終了後に委員会活動を行うことが多いですが、別日を設定している委員会もあります。専門委員会は、「防災」「くらし」「交流」「広報」「当事者」と5つに分かれ活動し、他に課題整理係を設けています。

◎委員会活動

・くらし委員会

地域のイベント、サークル活動の情報を集め、障害のある方が参加できるものは、広報を通じ情報発信していきます。

・防災委員会

東日本大震災をきっかけに災害時における自助、共助、公助について考える活動をしています。特に、災害時の地域とのつながり作りを模索していきます。

・交流委員会

多摩区内の関係機関がお互いに顔の見える、横のつながりが持てるように活動をしています。放課後等デイサービスの事業所の集いの企画、社会資源等の交流会の企画を予定しています。

・広報委員会

「知らせること、見てもらうこと、読んでもらうこと、今を伝える・活動を伝える」を目標に活動します。広報紙「たまネット」の作成、協議会の広報活動をします。

・当事者委員会

当事者が集まって話し合うことで、何かできることはないか模索しています。
街中のバリアフリー状況について商店街に向けてアンケートを実施し、まとめる予定です。

◎係活動

・課題整理係

多摩区内の課題について不定期で実施しまとめていきます。

課題の中からグループ討議の内容を決めていきます。

＜今年度の区全体会議＞ 基本的に隔月 第3火曜午後実施

第1回 4月21日（火）13：30～15：00 多摩区役所

- ① 構成員自己紹介
- ② 今年度の区自立支援協議会の体制についての説明
- ③ 各委員会顔合わせ、開催日調整等。

第2回 6月16日（火）13：30～15：00 多摩区役所

- ① 各委員会・係名簿の確認
- ② 各委員会の年間計画について確認
- ③ 各委員会の報告
- ④ 川崎市地域自立支援協議会事務局会議の報告
- ⑤ グループ討議

「生活の中から感じていること～多摩区の良いところ・強みを探す」

第3回 7月21日（火）13：30～15：00 多摩区役所

- ① 各委員会・係からの報告
- ② 川崎市地域自立支援協議会事務局会議の報告
- ③ グループ討議「広報委員会の活動について～皆さんの力を合わせて、必要
なところに届けよう」

第4回 10月20日（火）13：30～15：00 多摩区役所

- ① 各委員会・係からの報告
- ② 川崎市地域自立支援協議会事務局会議の報告
- ③ グループ討議

「当事者の声を聞く～希望する生活、みんなで考えていきたいこと～」

第5回 12月15日（火）13：30～15：00 多摩区役所

- ① 各委員会・係からの報告
- ② 川崎市地域自立支援協議会事務局会議の報告
- ③ グループ討議「子供の支援について考える」

第6回 1月19日（火）13：30～15：00 多摩区役所

- ① 各委員会・係からの報告

② 川崎市地域自立支援協議会事務局会議の報告

③ 今年度の振り返りアンケートの配布、記入。

第7回 2月16日（火）13：30～15：00 多摩区役所

① 各委員会・係からの報告

② 次年度の体制について説明（アンケート集計経過、体制素案提示）

③ 川崎市地域自立支援協議会事務局会議の報告

第8回 3月15日（火）13：30～15：00 予定

＜事務局会議＞ 毎月第3火曜午後に実施

全体会議前に毎回開催しました。

全体会議にて報告する内容の確認、会議の運営方法や検討事項について話し合いました。

＜具体的な取り組み内容＞

◎全体会議

2カ月に1回の割合で各委員会の活動報告を行いました。委員会以外の構成員から意見をもらうことで、取り組み内容を修正したり、加えたりすることで、委員会がより一層テーマを深められるような場としました。

グループ討議は、新たな当事者・家族の参加があったこともあり、区内のことやご本人の想いを話す機会を設け各委員会からは検討したい事項を挙げてもらい話し合いました。日ごろ活動を共にしている委員会メンバーだけではなく、いろいろな方と意見交換をしたいとの意見から、グループ編成も配慮して行いました。出された意見については、課題整理係でまとめ、今後の課題設定の参考にすることとしています。

1月には構成員にアンケートを実施し、協議会活動の振り返りと改善したい点を記入してもらい、次年度の体制作りへの参考としました。

◎交流委員会

11月に「子どもを支援している事業所の集い」を開催しました。区内に多くの事業所が開所しはじめていますが、情報が追いついていないこと、各事業所の困り感を共有していくことを目的として、療育センターや相談支援センター等も含め30名ほどの参加がありました。「ヘルパー事業所のつどい」の開催も3年目に入り、日ごろの様々な想いを情報交換しました。

軽度知的障害者の集まりである「みんなで交流会」も5年目を迎え、2～3か月に1度の割合で開催しています。風船バレーやUNO、時にはおでん作りをして余暇のひと時を楽しみました。



UNO に白熱中



あるときの参加メンバー

◎防災委員会

区内のある町内会での取り組みの話を伺い、今後の参考になる点がありました。昨年に引き続き、多摩区防災フェアに参加し自立支援協議会の取り組みの展示や防災グッズの配布とアンケートを行い啓発に努めました。

23年度に作成した「おたすけカード」は、更に普及・啓発を図るため、区役所窓口、区役所1階の広報コーナーほか多摩区防災フェアや多摩ふれあいまつりでの配布を行いました。多摩区地域自立支援協議会のホームページからダウンロードができます。ホームページを見て、他都市から問い合わせのアンケートがくることもありました。

◎当事者委員会

誰もが住みやすい街をめざし、登戸周辺のバリアフリーマップの作成を検討しています。区内のふたつの商店街のバリアフリー調査のアンケートを行い、今後回答をしてくださった商店の方に直接話を聞く予定にしています。

<係活動など>

① パサージュ・たま

運営会議の出席のみではありますが、企画全体を見守る立場として参加しています。運営が軌道に乗っているため会議は年2回の開催になりました。

② 多摩ふれあいまつり

毎年6月に多摩区役所内で開催される当イベントにおいて、広報・啓発を目的としパネルの展示や協議会パンフレットや「おたすけカード」を配布、相談員の配置も行いました。

③ 広報

1) 広報紙「たまネット」の発行

平成19年より発行しています。読み手に伝わりやすい情報発信を目標に今年度から関係者向けに年2回、区内の町内会回覧用に年1回発行、作成に変更しました。紙面も一新しています。

2) 27年度版多摩区地域自立支援協議会のパンフレットの作成、発行、配布。

3) ホームページ更新

④ 課題整理係

1) グループ討議でのテーマを決めること、討議された内容をまとめたものを次回以降の全体会議で報告しました。

2) 次年度から利用予定の課題整理票（案）を試行的に記入し、今後の課題整理票の使い勝手について意見交換し、取り組む課題の優先順位もつけてみました。

<次年度はこんなことします！…あるいはこんなことしたいな～>

今年度同様、参加している構成員が、区内の課題に対する共通認識や情報交換等ができるような会議を目指します。課題については、いろいろな方との意見を交換できるグループ討議は継続していく予定です。

委員会については、課題整理票から地域課題を抽出する経過をきちんとふまえることから始めるので、現時点では未定です。課題解決に協力してくださる方に声掛けをしながら委員会を作り上げていく予定です。

多摩区地域自立支援協議会 構成員

	所 属	氏 名
1	神奈川県立麻生養護学校	添木 博
2	紙ひこうき	金森 孝之
3	サポートセンターロンド	遠藤 真紀子
4	GDP かわさき	梅木 澄子
5	多摩川あゆ工房	並木 章子
6	多摩区社会福祉協議会	渡辺 伸枝
7	はぐるま支援センター	岡田 圭司
8	ヘルパーステーション夢花	前田 大輔
9	百合丘就労援助センター	太田 めぐみ
10	ゆりの木	原 奈津穂
11	川崎西部地域療育センター	田幸 恵美
12	北部地域療育センター	地村 明子
13 14 15 16 17 18 19 20	当事者	太田 孝司 関山 進 中込 義昌 濱 聡子 火口 慎也 古谷 学 山岸 洋平 和田 正義
21 22 23 24	当事者家族	葛西 啓子 梶原 章子 加藤 良子 美和 とよみ
25 26	百合丘障害者センター	小野寺忠男 菅野 涼子
27 28	百合丘障害者センター 在宅支援室	渥美 美奈子 安保 博史
29 30	地域相談支援センター アベク	岸 裕子 山下 義仁
31 32	地域相談支援センター いろはにこんぺいとう	亀井 芳子 高橋 洋子
33 34	地域相談支援センター ドルチェ	加藤 主力 酒井 路子
35 36 37	たま基幹相談支援センター	藍澤 温代 白石 大樹 牧田 奈保子
38 39 40	多摩区高齢・障害者支援係	鈴木 朋子 根岸 葉子 渡辺 佳代子

麻生区地域自立支援協議会

＜今年度のテーマ＞

とびこもう地域の中へ つながろうあさお

＜麻生区地域自立支援協議会の特徴＞

- ①相談支援事業所（４か所）と保健福祉センター、障害者センター、療育センターが事務局会議を構成し、運営を行っています。全体会議には障害児者の日中活動施設、就労支援機関、社会福祉協議会、教育機関、当事者（障害のある区民及びその家族）が参加しており、多彩な顔ぶれとなっています。このほか委員会のみに参加している方もいて、様々な場面で活動を展開しています
- ②事務局会議を月１回、開催しています。全体会議については、今年度は委員会活動に注力するため原則２か月に１回の開催としました。専門委員会については、その都度必要に応じた回数で実施しています。

＜今年度の目標と方向性＞

・昨年度、「知ろう・探ろう・麻生の課題」という年間のテーマのもと、地域課題抽出を行い、さらに具体的な検討を行いました。その結果、今麻生区に必要なこととは、障害のある方に情報を届けること、麻生区における共生社会の実現、そのために障害福祉関係団体以外の組織等への広報、啓発活動を行っていくことであるとの結論に達しました。このような経緯を経て今年度から「とびこもう地域の中へ つながろうあさお」というテーマを設け、これを基に２年間、具体的な取り組み、成果を目指すこととなりました。これを受け、今年度の専門委員会は「児童」を継続設置したほか、新たに「ネットワーク連携」「福祉・地域情報」の２つを設置しました。係については「当事者参加」を継続設置し、実務的な取り組みを行うこととなりました。委員会構成員については原則として、全体会議構成員全員がいずれかの委員会に参加する形で行いました。

＜今年度の区全体会議＞

第１回 ４月１５日（水） １３：３０～１６：００ 麻生区役所

- ①各種報告、情報交換等
- ②年度初めのあいさつ、自己紹介
- ③川崎市地域自立支援協議会設置要綱、要領、手引きの読み合わせ
- ④川崎市地域自立支援協議会全体会議報告

- 第2回** **5月20日（水） 13：30～16：00 麻生区役所**
①各種報告、情報交換等
②麻生区地域自立支援協議会開催要項の確認
③川崎市地域自立支援協議会設置要綱、要領の読み合わせ（前月の続き）
④委員会等役割分担決め
- 第3回** **7月15日（水） 13：30～16：00 麻生区役所**
①各種報告、情報交換等
②機関紹介（相談支援センター）
③委員会活動報告
- 第4回** **9月16日（水） 13：30～16：00 麻生区役所**
①各種報告、情報交換等
②機関紹介（しらかし園、百合丘日中活動センター、日だまり工房）
③委員会活動報告
- 第5回** **11月18日（水） 13：30～16：00 麻生区役所**
①各種報告、情報交換等
②当事者構成員活動紹介（大漣氏、金子氏、佐野氏）
③委員会活動報告
- 第6回** **1月20日（水） 13：00～16：00 麻生区役所**
①麻生区地域自立支援協議会公開活動報告会
- 第7回** **2月17日（水） 13：30～16：00 麻生区役所（予定）**
①各種報告、情報交換等
②委員会、係報告
③当事者構成員参加募集について
④27年度活動のまとめ
- 第8回** **3月16日（水） 13：30～16：00 麻生区役所（予定）**
①各種報告、情報交換等
②委員会、係報告
③28年度の（麻生区地域自立支援協議会の）体制について

＜具体的な取り組み内容＞

◎全体会議

＜今年度の目標と方向性＞で記述した通り、今年度からは委員会活動に注力するため、原則として隔月での開催といたしました。全体会議の役割も今年度からは、「報告、連絡の場」「地域の社会資源や当事者の活動を知ることの出来る場」として新たにスタートを切りました。内容は＜今年度の区全体会議＞の記述の通りですが、当事者構成員、事業所構成員ともに互いの取り組みや活動内容を知ることの出来る機会となり、好評をいただくことができました。

昨年度ご指摘をいただいた、「今後、どのようになっていくのかが見えない」「協議会の目的や全体的な構成が分からない」といった意見については、委員会の具体的な活動を通じて、改善を図ることができています。

◎公開活動報告会

今年度の新たな取り組みとして、公開活動報告会を28年1月に行っています。①麻生区の障害福祉について、②川崎市及び麻生区地域自立支援協議会について、③各委員会及び係活動報告、という内容で、それぞれの経過や取り組みの報告がなされました。当日は構成員ではない8名の方からご参加をいただくことができました。参加された皆様からは、報告を聞いていただくとともに、忌憚のないご意見を頂戴いたしました。

◎児童委員会

児童委員会は①出張相談②ピアサポーター活動支援③福祉教育④リーフレット作成の4本柱で活動をしています。

地域の小学校特別支援級の保護者を対象にした出張相談については昨年度に引き続き2校実施しております。一部の協力校からより広域に展開していくため広報活動を校長会で行っております。また、特別支援級担任にも伝わる方法を現在検討中です。

ピアサポーター活動支援はスキル向上のため『相談支援の心得』、『支えあうまちづくり～医療・福祉・教育において地域での連携～』『グループホームについて』の学習会を設けました。また、年度のまとめ振り返りをしながらピアサポーター、児童委員会のメンバーでのランチ会を実施しています。

どんな人にとっても住みやすい地域づくり実現のため幼少期からの教育が大切だと痛感し、小中学生を対象にした福祉教育に今年度より取り組み始めました。しかし、小中学校はカリキュラムが年度当初には既に組み立てられているため、年度途中での実現は難しい状態でした。福祉教育の第1歩としてわくわくプラザやこども文化センターでの活動を行えないかと模索している所です。

麻生区内の相談機関に配布予定の障害児用支援ガイドブックとして『エールブック』を作成。今後配布していく予定です。

◎ネットワーク連携委員会

平成 27 年度より新しく発足した委員会です。目的として障害のある人もない人も共に生きる社会を作る為麻生区の福祉団体以外（企業や高校、大学等の教育機関）と連携出来るようつながりの方法や手段を考えていく事としています。構成メンバーは相談支援センター2 か所、行政、社協、福祉事業所 8 か所、当事者（家族含む）2 名となります。昨年度は3ヵ年計画の中で地域課題を探る 1 年であり、2 年目は委員会も発足し具体的な活動をする1年という認識で活動してまいりました。

今年度実施した2つの活動を報告します。

①「企業訪問インタビュー」

新百合ヶ丘駅周辺の商業施設を対象として訪問インタビューを行いました。第1弾としてイオン新百合ヶ丘店に11月9日に3名で訪問しました。目的としては積極的に地域への社会貢献活動に取り組んでいる企業を訪問し具体的な取り組みに関する情報を収集し、地域の皆様と共有する事で福祉意識の向上をはかる。誰もが暮らしやすい地域づくりを目指して企業と連携し共に出来る事を検討していく事としています。イオン新百合ヶ丘店から2名の方が対応して頂きバリアフリー対応の具体例や障害者雇用の現状、高齢者や障害者に対する福祉的な配慮等を伺うことが出来ました。今回得た情報については広報紙や報告会において広く地域で発信予定です。今回イオンという企業に麻生区地域自立支援協議会を知っていただき顔の見える関係となれたことは今後何か一緒に行う上での一歩になれたように思います。

②「地域福祉交流講座」

平成 27 年 11 月 25 日（水）19 時～20 時半に麻生スポーツセンター研修室にて地域福祉交流講座を開催いたしました。講師として麻生区聴覚障害者協会の森都さんと手話サークルイルカさんをお招きしました。講座開催の目的は、手話に興味をもってもらい、聴覚障害の方の生活を知る事で障害の理解を深める事です。今回社会人や高校生以上の学生が参加しやすい時間帯という事で、夜間帯の時間設定としました。

当日は雨天で寒さも厳しい中、22 名の方が講座に参加していただきました。参加者の内訳は一般の方が6名、大学生が4名、ボランティアが2名、見学が3名、委員会メンバーが7名となります。講師の森都さんの生い立ちから現在までの想いや様子を手話通訳のイルカさんと一緒に楽しく、希望の持てる内容を素敵な手話で語っていただくことが出来ました。参加者の名前や簡単な挨拶を知ることが出来るミニ手話講座も行いました。

講座参加者からのアンケートにも「手話を始めるきっかけになった」「手話通訳に興味をもった」「このような講座を今後も開催してほしい」といった意見を多く頂きました。



◎福祉・地域情報委員会

今年度より立ち上がった福祉・地域情報委員会では、障害のある方たちへの情報の届け方について検討し活動しました。障害による困りごとがあっても、サービスを知らなかったり、どこにも相談できずに暮らしていたりという地域課題があったため、まずは障害のある方や家族・身近な方に、相談窓口を知ってもらえるよう「つながろうカード」を作成しました。カードには麻生区保健福祉センターと相談支援センター4ヶ所の連絡先を記載し、手に取りやすいはがきサイズにしました。身近な相談先として感じられるよう、文章も検討を重ね、区内障害者施設に通う利用者の方のイラストも載せています。

カードの設置場所については、麻生区福祉まつりの来場者にアンケートを実施し、手に取りやすい場所はどこか検討しました。今後、駅やスーパー・コンビニ、病院など、カードの設置を依頼していきます。

麻生区地域自立支援協議会 構成員

※順不同

1	あさお基幹相談支援センター	河村裕孝 田島美幸 漕上正道
2	地域相談支援センター柿生	碓井友紀 角山正敏
3	地域相談支援センターそれいゆ	大場幸 小松江美
4	地域相談支援センターひまわり	望永和美 安藤佑香里
5	百合丘地域生活支援センターゆりあす	印部美津子
6	百合丘障害者センター	菅野涼子 荒田真由子
7	北部リハビリテーションセンター 百合丘障害者センター在宅支援室	浦雄司
8	北部地域療育センター	地村明子
9	県立麻生養護学校	楠山友美
10	麻生区社会福祉協議会	平川良一
11	ひびき工房ペリ	高橋不二雄
12	ひだまり工房	國米リリ子 中西健
13	2にん3きゃく	
14	があでん・ららら ハーブカフェ・ららら	大友ワカサ
15	東百合丘タイムケアセンター	中村光世子
16	障害児音楽コミュニケーション「YouYou クラブ」 片平タイムケアセンター	小幡富士雄
17	川崎市柿生学園	北島緒月
18	ゆりの木	池沢元亮
19	百合丘日中活動センター	安保敦子
20	百合丘就労援助センター	野辺季暢
21	アルデンテ	矢野淳一
22	しらかし園	榛葉宏好

23	働くしあわせ	古川真理子 石田和之
24	くりの丘	丸山裕介
25	ソレイユ川崎	山中由紀
26	tomorrow	中川まゆみ 伊東由衣 古林美和
27	あさっぷクラス千代ヶ丘	渋谷裕幸
28	ウイングあさお	松本寛子
	当事者の方・家族	大瀧純子 尾田常登 金子広明 佐野幸子 中村紀子
	麻生区保健福祉センター（事務局）	小沢亜希子 大森優子